

第77期報告書

フクダ電子株式会社

2024.03

2023年4月1日から2024年3月31日まで



おかげさまで85周年

医療機器で明日を創る

フクダ電子



<https://www.fukuda.co.jp/>

証券コード：6960



代表取締役会長
福田 孝太郎

フクダ電子の歩みは、
国産第一号の心電計開発から始まりました。
様々な変化の時代に対応し続け、
テクノロジーと人間力の融合に取り組みながら、
医療・医学の進歩に寄与してまいりました。
フクダ電子は85年を越える歴史を基盤に、
医療機器専門メーカーとしてチャレンジを続け、
社会からの信頼とともに、
これからも人々の健康に貢献できる
医療のイノベーションを創出してまいります。

経営理念

社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する



代表取締役社長
白井 大治郎

医療機器専門メーカーにとって、
社会との信頼関係は大変重要です。
それは人々の健康に役立つ成果を、
一つ一つ実現して築き上げていくことだと考えます。
フクダ電子は社会の変化や要請にお応えできる
イノベーターでありチャレンジャーであり続けます。
お客様の目線で、
真のニーズを掘り起こすことで
医療・医学の進歩に貢献しながら、
「100年企業」を目指してまいります。

目次

トップメッセージ.....	1	新製品紹介.....	9
経営方針・中期経営計画.....	4	連結財務諸表.....	11
事業紹介.....	5	会社の概況.....	13
特集.....	7	株主メモ.....	裏表紙

Q 当期の業績についてご説明ください。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から緩やかな回復基調にあるものの、先行きについては国際情勢等を受けた資源価格の高騰や、物価上昇に対応した欧米の金融引き締めの影響が危惧される等、不透明な状況が続いています。

医療業界においては、新型コロナウイルス感染症への対応を継続しつつ、医療分野のデジタル化を進める医療DXの推進や、地域医療構想による医療機関の機能分化と連携を通じた効率的な医療提供体制の構築が求められています。

このような環境の中、当連結会計年度の売上高は1,403億23百万円（前期比4.2%増）となりました。利益につきましては、営業利益は265億6百万円（前期比10.0%増）、経常利益は269億90百万円（前期比7.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は186億93百万円（前期比8.2%増）となりました。

Q 来期の見通しについて教えてください。

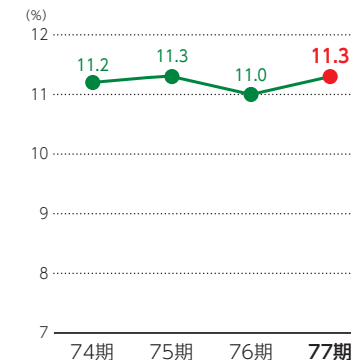
フクダグループは、経営理念に則り、医学の進歩に寄与すべく、一層の社会的使命感を持って医療への貢献に向け弛まぬ努力を続けてまいります。

次期見通しは、売上高1,350億円、営業利益230億円、経常利益230億円、親会社株主に帰属する当期純利益165億円を見込んでおります。

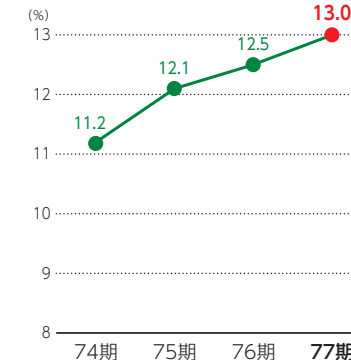
なお、現時点で予測しうる見通しであり、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

収益性指標

ROE(自己資本当期純利益率)

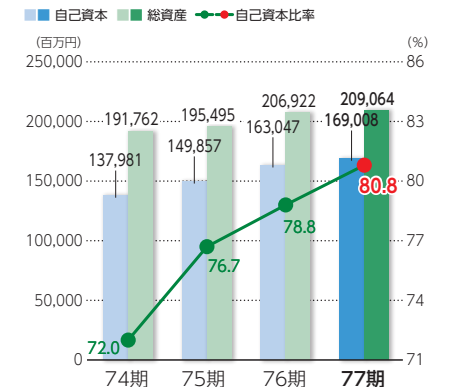


ROA(総資産経常利益率)



安全性指標

自己資本/総資産/自己資本比率



Q 利益還元についてご説明ください。

1株当たりの配当金

185 円

期末配当金：105円
(普通配当：60円
特別配当：45円)

中間配当金：80円
(普通配当：60円
特別配当：20円)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策として位置づけ、必要な内部留保を図りながら企業体質を充実・強化し、競争力のある事業展開、安定的な利益還元を継続して行うことを基本方針と定めております。

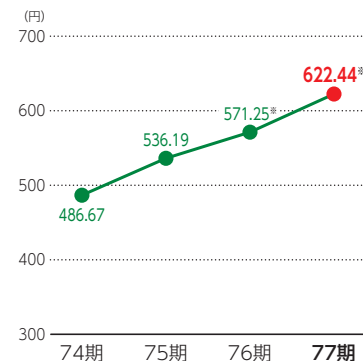
当期の期末配当金につきましては、1株当たり60円の普通配当に加え20円の特別配当を予定しておりましたが、通期の連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益のいずれもが2024年1月31日に公表した予測数値を上回ったことから、普通配当を60円、特別配当を45円、合計105円とさせていただきます。

これにより、年間の配当金は、先に実施いたしました中間配当金80円と合わせて1株につき185円となります。

配当支払い回数につきましては、中間期末日、期末日を基準日とした年2回を継続する方針であります。

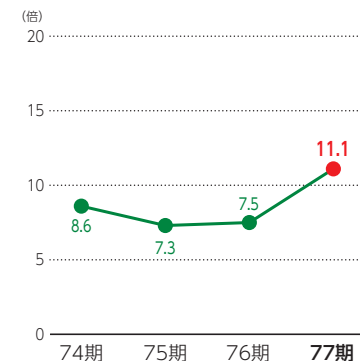
1株当たりの指標

EPS (1株当たり当期純利益)



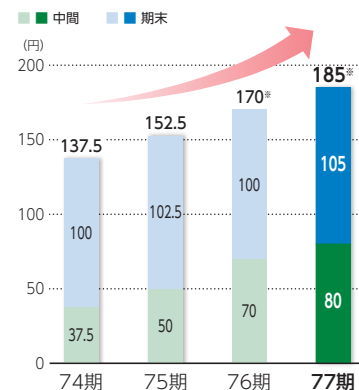
株価指標

PER (株価収益率)



株主還元

配当金



※当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。74期から75期に關しても当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

1. 経営方針

経営理念

社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する

経営の基本方針

「お客様に信頼される企業」を目指す

・提供する商品の品質の向上
・安全管理体制の充実

・他社との差別化を図った製品開発
・変化する医療ニーズに即した商品戦略

・販売体制整備のための投資

「予防・検査～治療～経過観察・リハビリ～在宅・介護」まで地域医療を支える一貫した医療環境を提供

2. 中期経営計画

中期経営計画方針

少子高齢化の進展に伴い変化する医療環境に適応すべく事業戦略を策定し、効率的な組織運営を実現することで強固な経営基盤を構築

事業戦略

・成長性が見込まれる分野への戦略的投資
・効果的な研究開発の取り組み

・在宅医療分野における地域密着体制の強化
・医療機関への総合提案の実現

組織運営

・ガバナンス・コンプライアンス体制の強化
・人材育成による組織の活性化

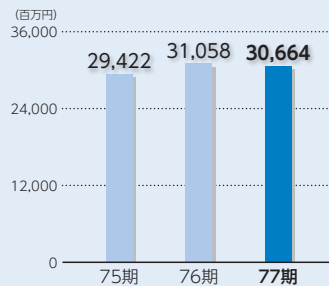
・グループ経営管理体制の充実

部門別概況 (2023年4月1日～2024年3月31日)

生体検査装置部門

売上高構成比
21.9%

売上高 30,664 百万円



[事業内容]

心電図、心音図、脈波、血圧、呼吸、臓器の動きなどの生体機能を示す物理現象を電気信号に変換し、測定記録する心電計、ポリグラフ、超音波画像診断装置などの製造・購買及び販売

[ポイント]

血圧脈波検査装置、自動血球計数装置の売上が減少し、売上高は306億64百万円（前期比1.3%減）となりました。



血圧脈波検査装置

心電計



心腔内除細動カテーテル



人工呼吸器

売上高構成比
42.5%

[事業内容]

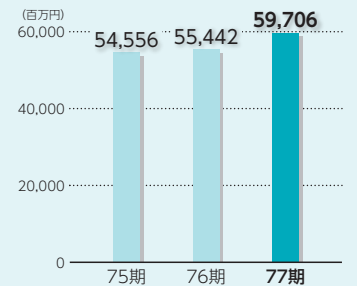
心臓や血管の治療に用いられるカテーテルをはじめ、心停止の蘇生や調律異常を治療する除細動器、ペースメーカ、人工呼吸器、在宅療養者向けのHOT（酸素吸入）、HMV（人工呼吸）、CPAP（睡眠時無呼吸症候群の治療）などの製造・購買及び販売・レンタル

[ポイント]

在宅医療向けレンタル事業、AEDが伸張し、売上高は597億6百万円（前期比7.7%増）となりました。

治療装置部門

売上高 59,706 百万円

第77期 売上高
140,323 百万円

[事業内容]

手術後の重症患者様、急性心疾患の患者様などについて、生体の諸機能を長時間にわたって監視する心電図モニタ、多種組合せの生体情報モニタなどの製造・購買及び販売

[ポイント]

モニタの売上高は97億22百万円（前期比16.4%減）となりました。

売上高 9,722 百万円

生体情報モニター部門

売上高構成比
6.9%

セントラルモニタ

ベッドサイドモニタ

[事業内容]

医用電子機器に用いる記録紙、電極、付属品及び部品の製造・購買及び販売

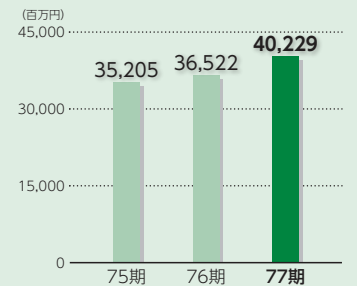
[ポイント]

消耗品等部門は、記録紙、ディスポーザブル電極や各部門の器械装置に使用する消耗品や修理、保守を含みます。消耗品等部門の売上高は402億29百万円（前期比10.2%増）となりました。



ディスポーザブル電極

記録紙

売上高構成比
28.7%

売上高 40,229 百万円

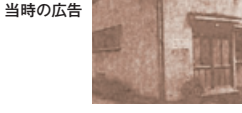
消耗品等部門

2024年10月フクダ電子は創業85周年を迎えます。

1939～ (昭和14年)



当時の広告



当時の福田エレクトロ製作(株)外観

1953～ (昭和28年)



キャッチフレーズを掲げた当時の看板



当時の福田エレクトロ総販売(株)広島営業所

1973～ (昭和48年)



1973(昭和48)年6月に完成した白井事業所

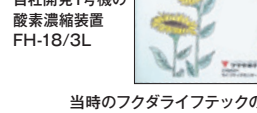


増築された白井事業所

1992～ (平成4年)



自社開発1号機の酸素濃縮装置 FH-18/3L



当時のフクダライフテックのパンフレット

2004～ (平成16年)



フクダ電子アリーナに設置されたAED



楽天モバイルパーク宮城に設置されたAED

2005～ (平成17年)



2005年より、フクダ電子アリーナ「千葉市蘇我競技場」のネーミングライツ取得

2011～ (平成23年)



東北楽天ゴールデンイーグルスのオフィシャルトップスポンサー



千葉ロッテマリーンズのオフィシャルスポンサー

2012～ (平成24年)



フクダ電子ファインテック仙台 新社屋

2021～ (令和3年)



本郷事業所 新社屋 全景

2024～ (令和6年)



85th Anniversary おかげさまで85周年

創業から終戦まで

1939年、フクダ電子の前身となる福田特殊医療電気製作所を創業し、国産第1号となる心電計を開発。

営業拠点の全国展開

交流電源心電計や熱ペン直記式心電計が全国で好調に。1953年以降、全国で営業拠点を展開。

白井事業所建設

白井工業団地の一角に1973年6月、新事業所が完成。1981年7月に増築され、生産体制が確立。

在宅医療事業

1992年、在宅酸素を扱う体制を構築。1995年には19版社を設立し、在宅医療事業をスタート。

AEDの普及

2004年、一般市民にもAEDの使用が認可。AEDの販売や講習会など、普及活動を推進。

スポーツ振興への取り組み

スポーツ事業への協賛、球技場のネーミングライツ取得等を通じて、地域の皆様と共に健康であることの喜びを分かち合う機会を普及。

フクダ電子ファインテック仙台

2012年9月から稼働開始。最新の設備導入と、効率的な生産体制を確立。

本郷事業所 新社屋が完成

フクダ電子の本郷事業所新社屋は創業の地である文京区本郷で新たにスタート。

2024年10月、フクダ電子は創業85周年

フクダ電子創業 (1939～)



1935年現存する国産最古の心電計



心電図自動解析装置 FCP-30



生体情報モニター DS-3300



血圧脈波検査装置 VS-1000シリーズ



パノラマ心電計 FCP-8453



血圧脈波検査装置 VS-1500シリーズ



新生児・小児・成人用人工呼吸器 Servo-i



パッチ型の長時間心電図レコーダー eMEMO WR-100



血圧脈波検査装置 VS-2500システム



空気清浄除菌脱臭装置 FDS-01



空気清浄除菌脱臭装置 FDS-02



ベッドサイドモニター BDS-1001



心臓リハビリテーション マネジメント RH-2000

フクダグループが提供するトータルソリューション

フクダグループは、予防・検査～治療在宅医療・介護まで、トータルソリューションを展開しております。

フクダライフテック (1992～)



自社開発1号機の酸素濃縮装置 FH-18/3L



酸素濃縮装置 FH-30/3L



酸素濃縮装置 AW-L



酸素濃縮装置 FH-100/5L



汎用人工呼吸器 クリーンエア ASTRAL



酸素濃縮装置 AW-110



酸素濃縮装置 FH-310



酸素濃縮装置 FH-1010



加熱式加湿器 Lumis™ HFT

フクダグループが提供するトータルソリューション

フクダグループは、予防・検査～治療在宅医療・介護まで、トータルソリューションを展開しております。

フクダグループ

予防・検査 治療

f'no 検査データ管理システム

f'Rens 在宅医療診療支援システム

mirret CVM-5000 急性期患者情報システム

MOBEAM MHC-1000 生理検査データ管理システム

クリニック

自宅

病院

介護・療養施設

Cloud

f'no

f'Rens

mirret

MOBEAM

フクダコーリン (2016～)



自動血圧計 HBP-9035 健太郎



スポットチェックモニター SC-1800

心臓リハビリテーションのスタンダード

心臓運動負荷モニタリングシステム

RH-2000

患者様のために“もっと優しく”、“もっと便利に”

タブレットで
寄り添う運用

歩行リハビリ
なども♪

リハビリの場
だからこそ
無線でスッキリ

実施規模に
合わせた構成

多人数集中
管理ソフト



心臓リハビリテーション
マネジメント

RH-2000システム

医療機器認証番号:305ADBZX000042000

販売名:心臓リハビリテーションマネジメント RH-2000システム

管理医療機器 特定保守管理医療機器

NEW

視認性・操作性に優れた運動負荷用自動血圧計

運動負荷用自動血圧計

FBX-1000

“LCDタッチパネル”と“充実機能”で
運動中の血圧計測をサポート



運動負荷



運動療法



心臓リハビリ

医療機器認証番号:305ADBZX00004000

販売名:運動負荷用自動血圧計 FBX-1000

管理医療機器 特定保守管理医療機器

フクダ電子ファインテック仙台で完全内製化

心電図用電極 エコーパッド／ホルター電極

OJ-06(F)・OJ-09(F)／TEH200DLW(F)・TEH178MDT(F)

安定供給と今後の更なる品質向上のため、エコーパッド／ホルター電極が
フクダ電子ファインテック仙台で完全内製化となります

心電図用電極 エコーパッド

従来品と同等性能を確保
内製化に伴い自動化で供給能力大幅UP!



OJ-06(F)



OJ-06(F) OJ-09(F)

ホルター電極

従来品と同等性能を確保しながら、
更にブラッシュアップ



TEH200DLW(F)

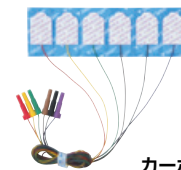


TEH178MDT(F)

●全電極の二重シールド化
→静電気ノイズの影響の低減
ハニカムシールド



心電図検査用電極 カーボンローデ／ニップローデ／サニーローデ



カーボンローデⅢ



ニップローデⅢ



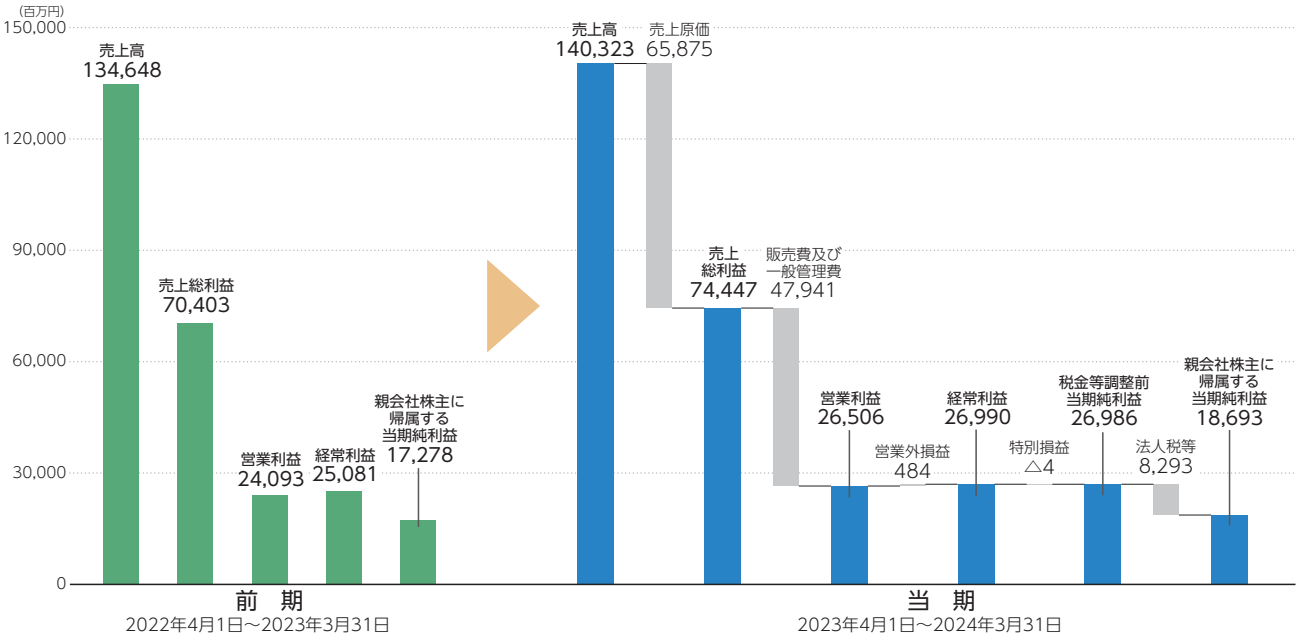
サニーローデⅡ

こちらの
製品も内製
しております

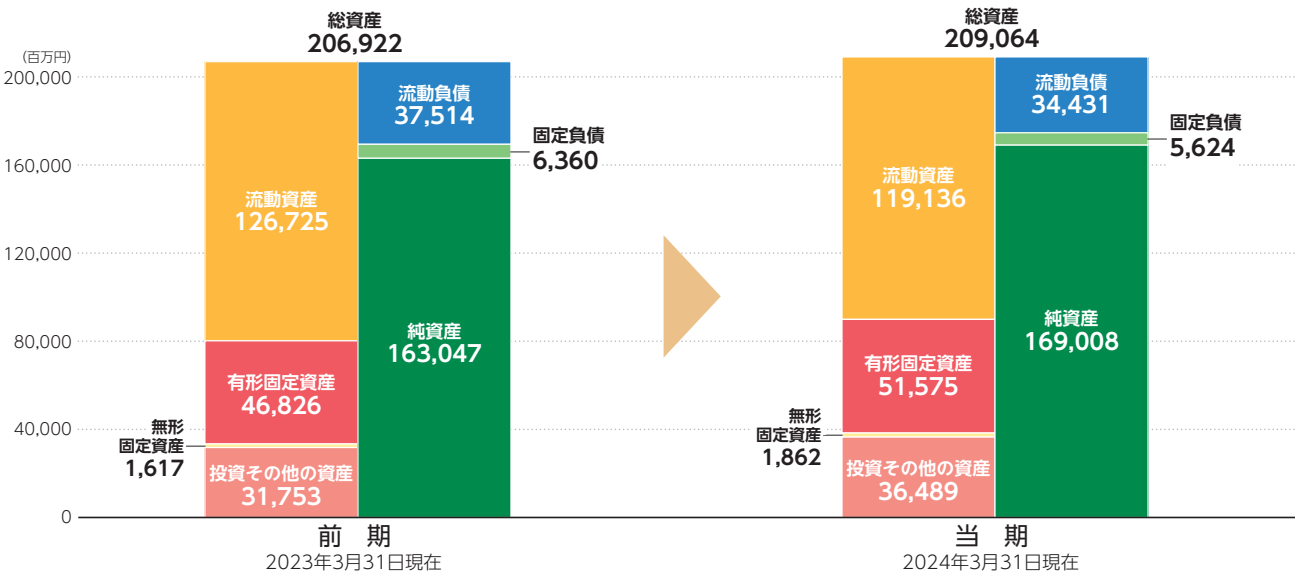


フクダ電子ファインテック仙台

連結損益計算書の概要

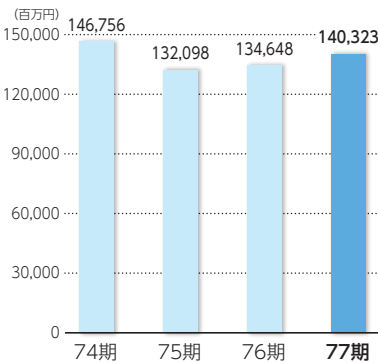


連結貸借対照表の概要

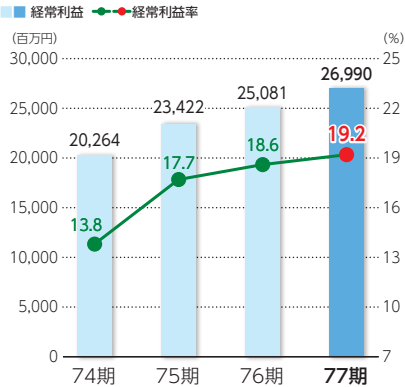


連結財務ハイライト

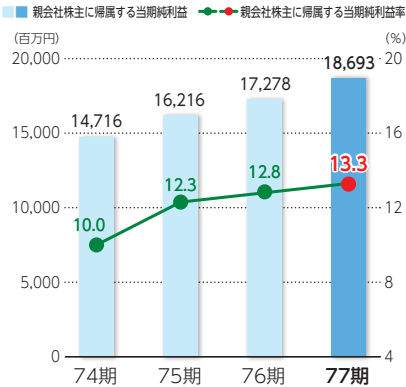
売上高



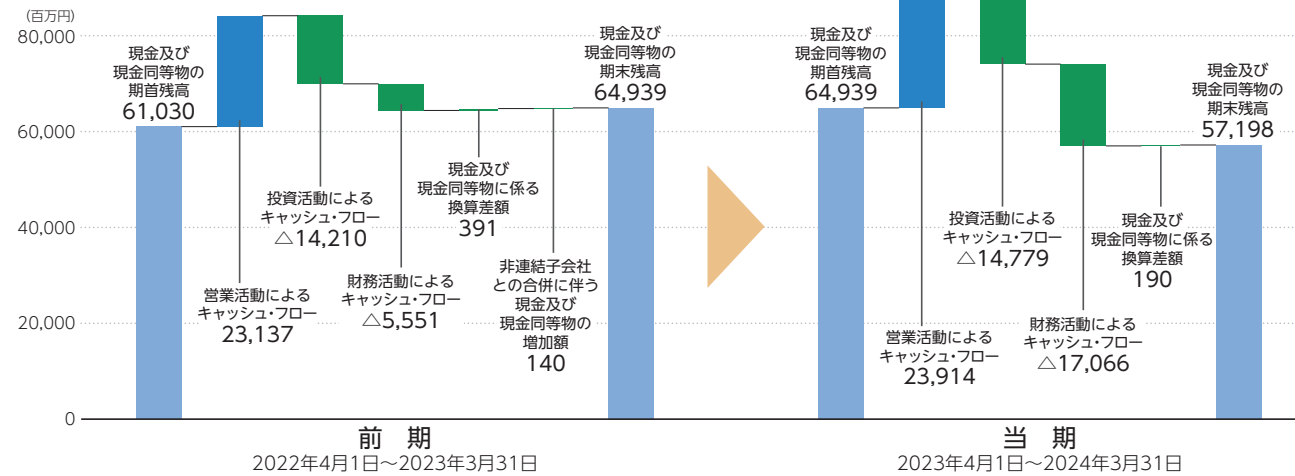
経常利益/経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益/親会社株主に帰属する当期純利益率



連結キャッシュ・フローの概要

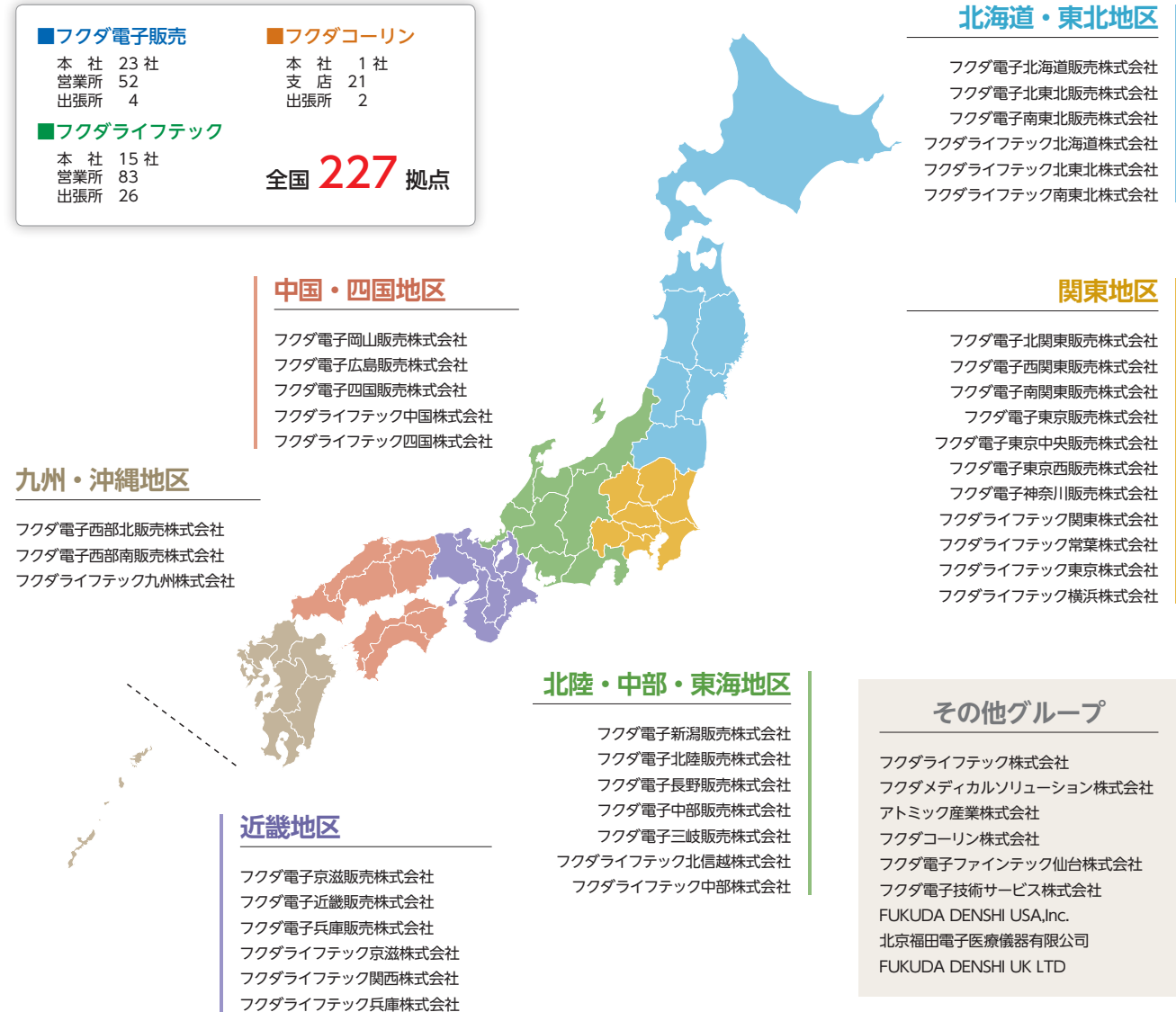


詳細な財務情報は当社ホームページ「IR情報」に掲載している決算短信をご利用ください。

<https://www.fukuda.co.jp/ir/>

フクダグループ (2024年6月27日現在)

地域密着型の全国ネットワークで、よりよい製品とサービスの提供に努めております。



会社の概況 (2024年6月27日現在)

商 号 フクダ電子株式会社
設 立 1948年(昭和23年) 7月6日
資 本 金 46億2,160万円
事 業 内 容 医用電子機器の開発・製造・販売及び輸出入
本店所在地 〒113-8483
東京都文京区本郷三丁目39番4号
主な取引銀行 株式会社きらぼし銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社みずほ銀行
株式会社北陸銀行
株式会社七十七銀行
株式会社商工組合中央金庫
みずほ信託銀行株式会社

取締役及び監査役 (2024年6月27日現在)

代表取締役会長	福 田 孝太郎
代表取締役社長	白 井 大治郎
常 務 取 締 役	小 川 治 男
常 務 取 締 役	玄 地 一 男
常 務 取 締 役	久 野 直 樹
取 締 役	福 田 修 一
社 外 取 締 役	杉 山 昌 明
社 外 取 締 役	佐 藤 幸 雄
社 外 取 締 役	古 屋 一 樹
社 外 取 締 役	伏 黒 久 高
常 勤 監 査 役	太田垣 吉 孝
社 外 監 査 役	後 藤 啓 二
社 外 監 査 役	廣 江 昇

大株主 (2024年3月31日現在)

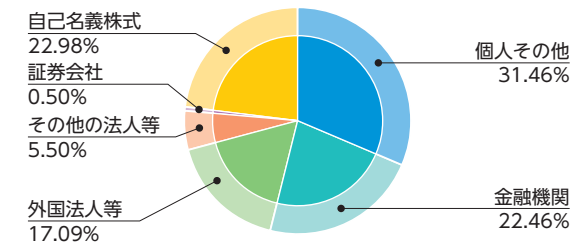
株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
福田 孝太郎	6,640	22.84
日本生命保険相互会社	1,505	5.18
ピービーエイチフォーフィデリティロープライズストックファンド(プリンシパルオールセクターサポートフォリオ)	1,432	4.93
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 きらぼし銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,390	4.78
株式会社三菱UFJ銀行	1,355	4.66
株式会社みずほ銀行	1,042	3.59
株式会社北陸銀行	1,000	3.44
福田 百合子	734	2.53
公益財団法人福田記念医療技術振興財団	600	2.06
フクダ電子従業員持株会	597	2.06

(注) 1 当社は自己株式を8,674千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
(注) 2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 156,000,000株
発行済株式の総数…………… 37,747,300株
株主数…………… 3,543名

所有者別分布状況 (2024年3月31日現在)



◆株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか取締役会の決議で定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付／ 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324
公告方法	当社ホームページに掲載する。(電子公告) < https://www.fukuda.co.jp/ >
上場証券取引所	東京証券取引所 (スタンダード市場)

◆株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

電話お問い合わせ先	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324
-----------	---------------------------

◆株式事務に関するご案内

●証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

●特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
各種お問い合わせ 及び郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きを行う必要がございます。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続きはみずほ信託銀行にお問い合わせください。

なお、未払配当金のお支払いは、みずほ銀行本店及び全国各支店でもお取扱いいたします。

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324
-----------------	---

フクダ電子株式会社

東京都文京区本郷3-39-4 TEL. (03) 3815-2121代

医療機器のフクダ電子 | 検索

UD FONT

